

脳卒中急性期のリハビリテーション

リハビリテーション室 作業療法士 藤井 洋有



脳卒中のリハビリテーションは、医師の指示の下、リスク管理を行った上で、早期から開始することが重要となります。当院では多くの場合、発症翌日から、理学療法士 (PT)・作業療法士 (OT)・言語聴覚士 (ST) がチームを組み、早期からの離床、経口摂取・排泄関連動作等の ADL 獲得を図るよう支援しております。早期から離床する最大のメリットとして、廃用症候群の予防が挙げられます。特に高齢者の場合、呼吸器合併症・せん妄も併発しやすいため、早期介入はこれら二次障害を予防する点でも重要となり、ADL 獲得の予後に大きく影響します。

脳卒中は高次脳機能障害も生じることが多く、その評価と対応も重要な役割となります。高次脳機能障害に対する理解はまだ十分とは言えず、患者・家族への情報提示は課題として挙げられます。

リハビリテーションは PT・OT・ST だけではなく、医師・看護師・相談員等、多職種によるチーム医療がより求められます。また、在宅の他に回復期病院や施設へと退院していくため、地域・後方支援の病院や施設との連携も重要です。脳卒中地域連携パスや研修会での情報交換の他、当院では毎週木曜日に脳外科カンファレンスが開かれ、近隣の回復期リハ病院のスタッフも参加し、交流を図っております。カンファレンスでは医師から MRI・CT 画像の解説をして頂けるため、その所見から、急性期を脱したその先にある生活像を予測して介入するよう留意しております。



脳神経外科 リハビリカンファレンスのご紹介

地域医療支援連携センター 相談員 青木 雅代



公立藤岡総合病院では 7 年以上に渡り、地域の連携病院の関係職員と週 1 回リハビリカンファレンスを開催しています。



このカンファレンスでは脳疾患患者の症例をもとに脳神経外科医による講義と事例報告を行い、今後の方向性を決めるための検討会を行っています。現在は 3 病院が参加しており、院内スタッフと近隣病院との連携強化及びスキルアップの場となっております。

興味のある方は是非ご参加ください。ご連絡をお待ちしております。

2014年 秋冬号 発行日▶2014.12.4

公立藤岡総合病院

地域医療 連携だより

病院の理念
患者本位の医療

基本方針

- ・患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
- ・地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
- ・急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実を目指します。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
- ・臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。
- ・地域医療支援病院として地域の医療人の教育・研修の充実強化に努めます。

最新の急性期脳梗塞治療について



脳神経外科部長 若林 和樹

急性期脳梗塞治療はこの 10 年で大きく変化しています。rt-PA 静注療法による血栓溶解療法が日本で 2005 年 10 月に導入され、2012 年 9 月には適応が発症 3 時間から 4.5 時間まで延長されました。当院も早期からこの治療を導入し、今までに 100 人以上の方に使用しています。しかし内頸動脈などの脳主幹動脈閉塞では再開通が得られず、予後が悪いことが指摘されています。このため 2010 年以降に、カテーテルを用いた血栓回収療法が行われるようになりました。初期のシステムの成績は必ずしも良好ではありませんでしたが、2014 年 7 月からステント型血栓回収デバイスが導入され、その高い再開通率 (8-9 割) が注目されています。適応は発症 8 時間以内で MRI 上梗塞が広範でない重症の心原性脳塞栓症となります。この治療は日本脳神経血管内治療学会専門医が常駐する施設でのみ使用が認められていますが、当院ではすでに 7 人に使用し再開通率の高さを実感しています。このような特殊な血行再建治療が行えない場合でも、発症 2 日以内に脳卒中専門病棟で従来薬を用いた治療や早期リハビリテーションを積極的に行う事で予後が改善することは少なくありません。このため当院では発症 4.5 時間を過ぎた脳梗塞でも原則全員脳神経外科で入院治療を行っています。当院はリハビリと内科スタッフが充実しており、機能改善や肺炎などの合併症予防、二次再発予防の治療を行う上での強みであると考えています。

公立藤岡総合病院附属外来センター診療予定表 平成26年10月17日現在

診療内科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合内科 (新)新患・(再)再来	(新)河合 (新)高野	(再)壁谷	(新)神保 (新)木下	(再)河合 (再)飯島	(新)河合 (新)藍原	(再)河合 (再)神保	(新)石川 (新)馬場	(再)神保 (再)壁谷	(新)河合 (新)壁谷	(再)杠
循環器	植田	高松	井上 間瀬	井上	☆山岸 小野	☆山岸	飯島 植田 高松 鈴木	鈴木	小野 ☆山岸	間瀬
呼吸器	中川	中川	塚越 ☆池田	塚越		中川 須賀(達) ※禁煙外来	高野 嚙下外来 (第1～3週) 在宅酸素外来 (第2週)		☆池田	塚越
血液	外山	神保 石川	斎藤(明)	神保	斉藤(貴) 杠			斎藤(明)		外山
腎臓・リウマチ	馬場	☆太田			☆太田		木下	塚田	塚田	
糖尿病	☆久永			☆久永				☆久永 ☆朱	☆久永 ☆朱	☆朱
神経内科	柳澤	(再)柳澤	柳澤		柳澤			(再)柳澤	古田 (第2・4) 柳澤 (第1・3・5)	
甲状腺						※常川				
(消)消化器・(肝)肝臓	(消)☆山口	(消)秋谷 ※柳澤 (14:30～16:30)		(消・肝)壁谷	(消)☆山口		(消)秋谷			
緩和ケア外来										
心療内科	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝) ※高橋	※五十嵐(孝) ※高橋	※五十嵐(孝) ※鈴木	※鈴木	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	
小児科 (乳)乳児健診 (予)予防接種	川嶋 ☆小坂橋	(心臓)※岡田 (第2・4) ※川嶋 (乳)※深澤	川嶋 井上	※川嶋 ※相馬 (内分泌) ※小和瀬	川嶋 ☆小山	※川嶋	川嶋 深澤	※五十嵐(恒) ※川嶋 (予)※井上	川嶋 大和	※川嶋 ※相馬
外科 (新)新患 ()がん専門外来	田嶋 田中	(呼吸器・乳)田嶋 (消化器・食道)田中	(新)☆松本 安藤	(消化器・乳)☆松本	(新)☆松本 設楽 萩原		設楽 (胃大腸)安藤 (一般)萩原	(新)☆塚越 森永	(胃・大腸・肝臓)森永 (消化器・乳)☆塚越	
ストーマ外来										要予約
整形外科	小林 遠藤 小野		中島 勝見 萩原		小林 石綿 萩原 (リハビリ) 清水		小林 遠藤 小野		中島 石綿 萩原 (リハビリ) 清水	10時30分～ 装具外来
脳神経外科	若林		非常勤		田村 ※甲賀				非常勤 甲賀	
皮膚科	嶋岡		嶋岡	[手術]	嶋岡	手術 (13～15時)	嶋岡	嶋岡	嶋岡	
泌尿器科	内田	内田	坂本	坂本	曲		内田		武井	武井
産婦人科 (婦)婦人科・(産)産科	(婦)吉田 (産)☆延命	吉田	(婦)☆延命 (産)吉田	吉田 ☆延命	(婦)吉田 (産)矢崎	山下 吉田	(婦)☆延命 (産)遠藤	(婦)※遠藤 (婦)☆延命	(婦)矢崎 (婦)小松 ※吉田	※吉田
助産師外来		※13～14時		※14～16時		※14～16時				※14時～16時 (第3・4)
眼科	須藤	[検査]	須藤	[検査]	須藤	[検査]	※群大		須藤	[検査]
耳鼻咽喉科		※群大 (14時30分～)	※非常勤		※古屋		※群大	※めまい外来 (14時～)		
ペインクリニック	金井/荒井						牛込			

診療時間：8時45分～17時00分
受付時間：〈午前の部〉8時～11時 〈午後の部〉13時～16時

※は完全予約
☆は女性医師

■発行：〒375-8503 群馬県藤岡市藤岡942番地 1 公立藤岡総合病院
(代表)TEL 0274-22-3311 FAX 0274-24-3161 URL <http://www.fujioka-hosp.or.jp/>
■責任者 甲賀 英明 ■地域医療支援連携センター(直通)TEL 0274-22-6039 FAX 0274-24-7002

TOPICS



本庄市児玉郡医師会と
医療連携懇話会

平成26年10月10日(金)

本庄市児玉郡医師会関係32名・当院
職員47名が参加し、病院の紹介と懇親
会を行いました。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014ぐんま
平成26年10月11日(土)～12日(日)
群馬県総合スポーツセンター(ぐんまアリーナ)
今年もチャリティーイベントに参加しました。



県内のがん診療連携拠点病院からはすべて参加があり、リレーウォーク参加チームは 64 チーム
(うち 24 時間完歩は 35 チーム【当院含む】)
2日間の参加延べ人数は 6100 人、参加サバイバー数は 130 人と大盛況でした！

藤岡がん診療講演会 平成26年10月15日(水) 附属外来センター



講演：「乳がん術後経過観察のポイントと進行・再発乳がんの治療方針」
群馬県立がんセンター 乳腺科 部長 柳田康弘 先生